

産業安全の経済効果に関するアンケートについて(20171210 改訂)

0. 産業安全の経済効果に関するアンケートの趣旨について

安全投資を合理的、計画的に実行している企業もちろんありますが、多くはそうではないのではないかと思います。したがって、まず、共通の理解として、その実態を把握することにあります。

そして、それらの現状認識の基に、また、必要によりインタビュー等を行い、良好事例等を活用して、適正な安全投資のあり方を検討し、お示しすることにより、産業安全の向上に寄与しようというものです。

1. 保安事故および労働災害の発生による損害額および諸費用の算定について

a) 保安事故の定義

原案:

「爆発・火災または漏えいなどによる操業停止(行政命令)または地域住民に被害をおよぼす事故、その他」を指し、高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法等によるものを対象とします。」

修正案:

「爆発・火災、漏えいなどの監督官庁に届けた事故等」を指し、高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法等によるものを対象とします。」

修正理由:保安事故の定義を原案のように厳密に適用することにより、回答対象から外れたり、把握していた損害額の選別の必要が生じる可能性がある。

b) (1)

原案:

「～損害額や諸費用を算定したことがありますか。」

修正案:

「～損害額や諸費用をある程度算定したことがありますか。」

修正理由:

「損害額や諸費用を算定したことがありますか。」と問うているが、その先の項目のリストを見ると、そんなに厳密には算定していないと判断して、No と答える会社が多いのではないかと思います。一方で、例えば物損額や生産損など一部の項目は算定している会社はほとんどだと思います。それらの会社が答えやすいように、「一部でも結構です。」とか「部分的な把握でも結構です。」のような表現を入れる方がよい。

c) (2)

原案:

「～損害額や諸費用を算定している具体的な項目は何ですか。」

修正案:

「～損害額や諸費用をある程度算定している具体的な項目は何ですか。」

修正理由:

bと同様

d) (6)

原案：

「～損害額や諸費用を算定したことがあれば、」

修正案：

「～損害額や諸費用をある程度算定したことがあれば、」

修正理由：

b)と同様

2. 安全対策のための投資額・支出額について

a)(2)

原案：

「～投資額・支出額を把握していますか。」

修正案：

「～投資額・支出額をある程度把握していますか。」

修正理由：

1. b)と類似の理由

b) 勘定科目(費目)等を問う(3)については、「(2)安全対策のために要した投資額・支出額をある程度把握している」ところだけが、回答するわけですから、把握の内容(その企業内の勘定科目(費目))を記載していただくことで十分であると思われます。

これを問う目的は、安全対策のために要した投資額・支出額を把握している企業・事業所が、どう工夫してどのように項目を区分けしているかの実態を知り、今後の検討の参考にしていくことだと思いますので、6項目の区分を設けず、自由に実際の項目を記載してもらいたいと思います。

3. 安全対策のための投資効果について

「安全対策のための投資効果」については、理解の共有化を図るため、ここでは、「安全向上への支出による潜在損害額の低下」(いわゆる直接効果)を対象とし、「生産性向上」、「利益増加」等は投資効果のプラスアルファとして捉えるということにする。